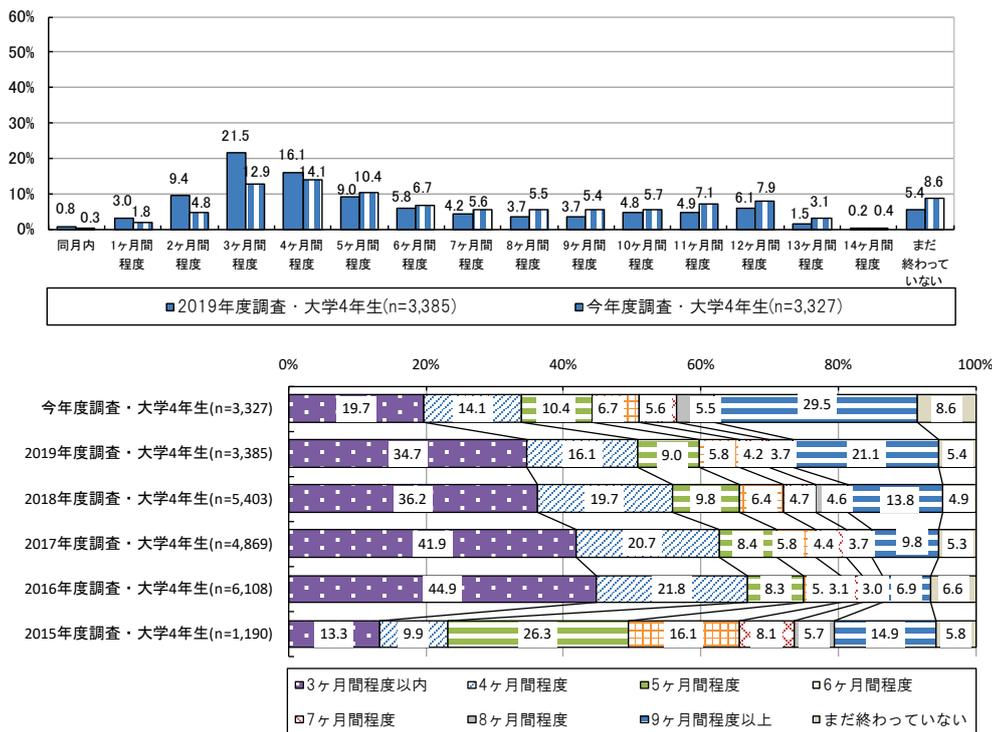
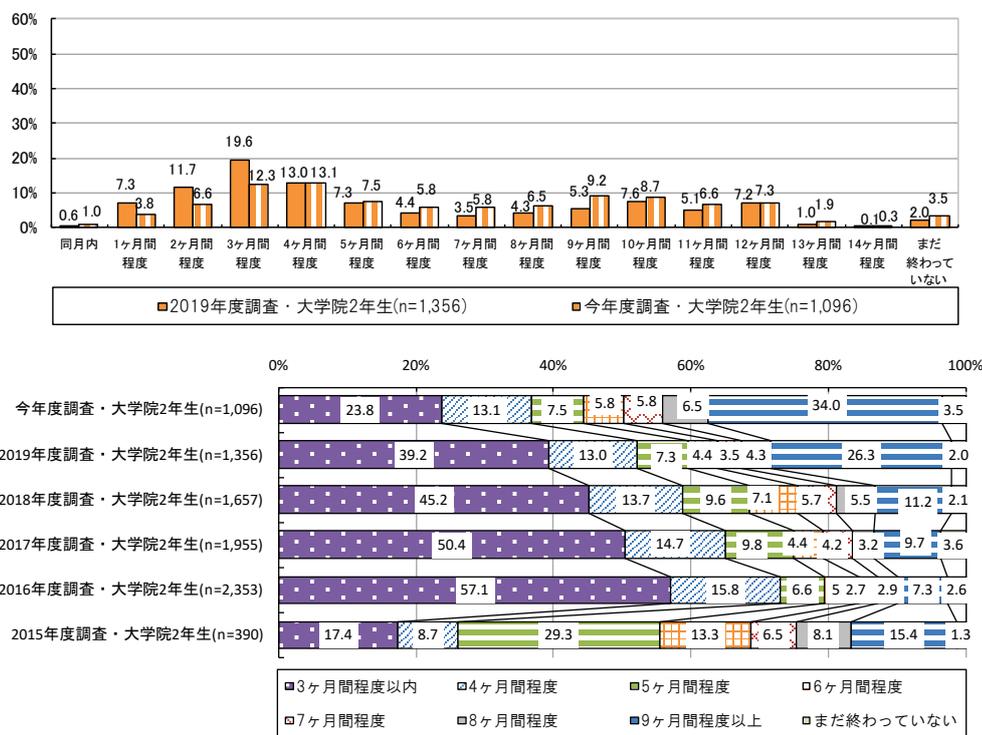


図表 3-8-6 就職活動の始まりから終わりまでの期間
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



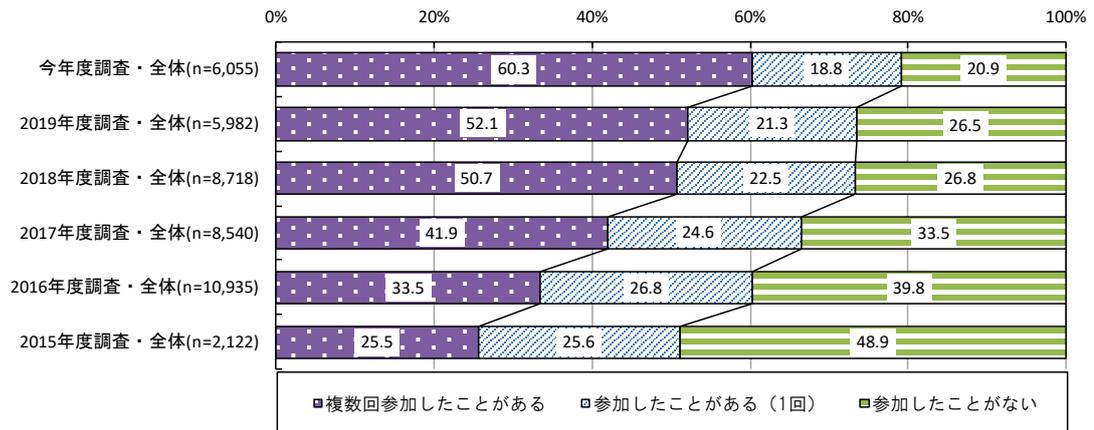
(9) インターンシップの参加状況

①参加の有無

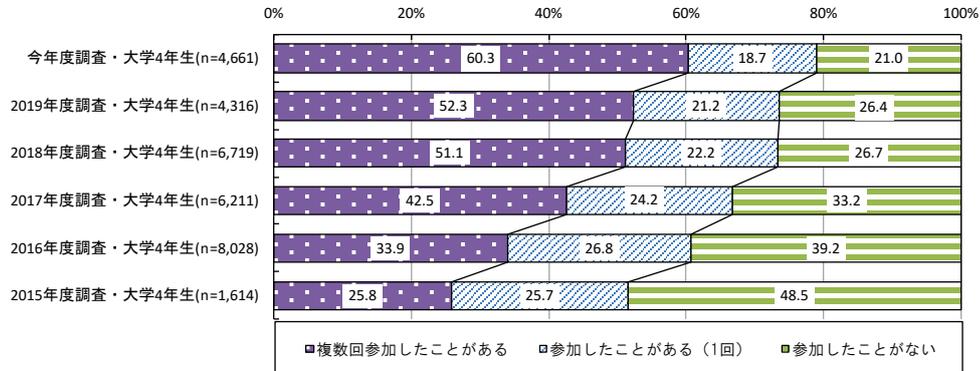
インターンシップ参加経験について、約8割が「参加したことがある」と回答している。なお、約6割が「複数回参加したことがある」と回答している。

過年度調査と比較すると⁵¹、今年度調査は「複数回参加したことがある」と回答した割合が高くなっている。

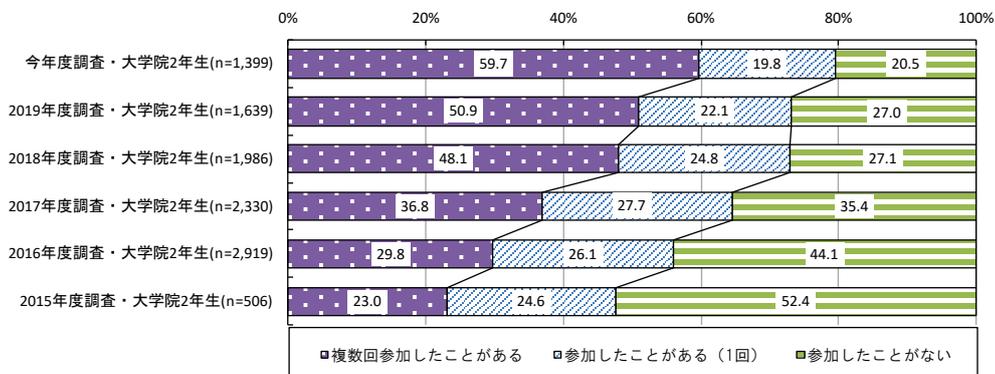
図表 3-9-1 インターンシップ参加経験の有無
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



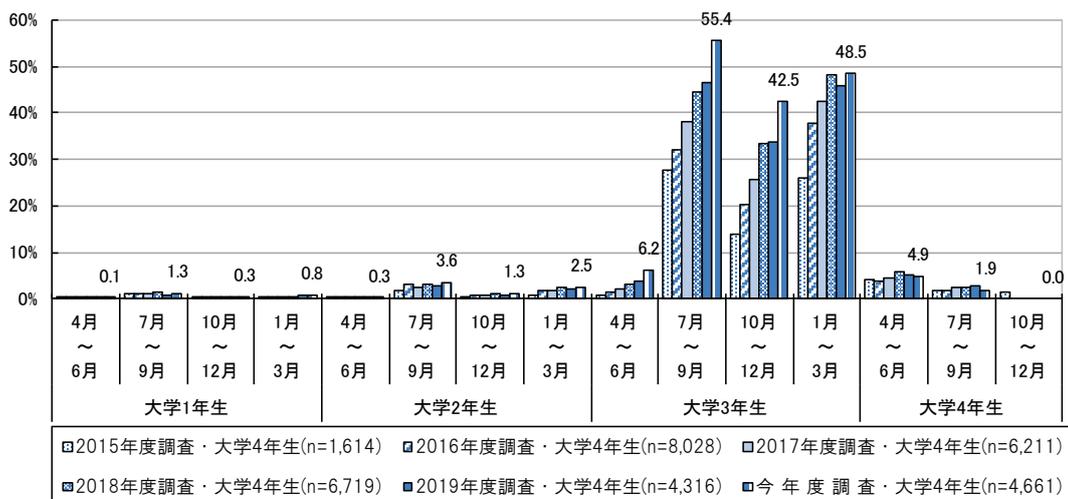
⁵¹ 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況について尋ねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

②参加時期

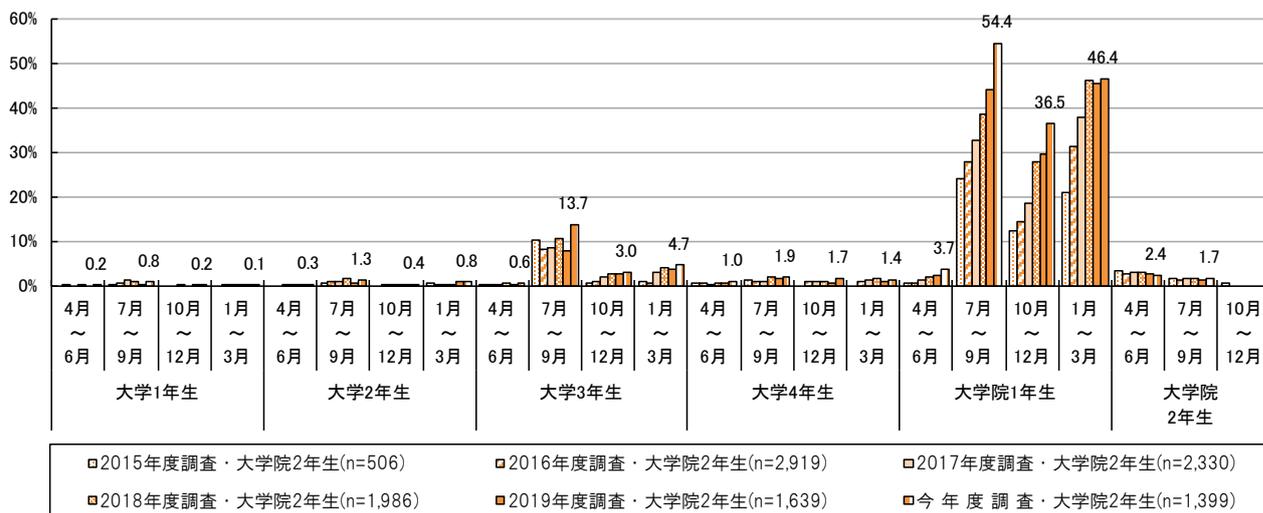
インターンシップ参加の時期について⁵²、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」や「1月～3月」の参加割合が約5～6割で高く、大学3年生・大学院1年生の「10月～12月」の割合が約4割となっている。

過年度調査と比較すると⁵³、上記のそれぞれの時期において、インターンシップに参加したと回答した割合が高まっている。「1月～3月」については、2018年度調査・2019年度調査と同程度の回答割合となっている。

図表 3-9-2 インターンシップ参加時期（複数回答）
（大学4年生）



（大学院2年生）



⁵² ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

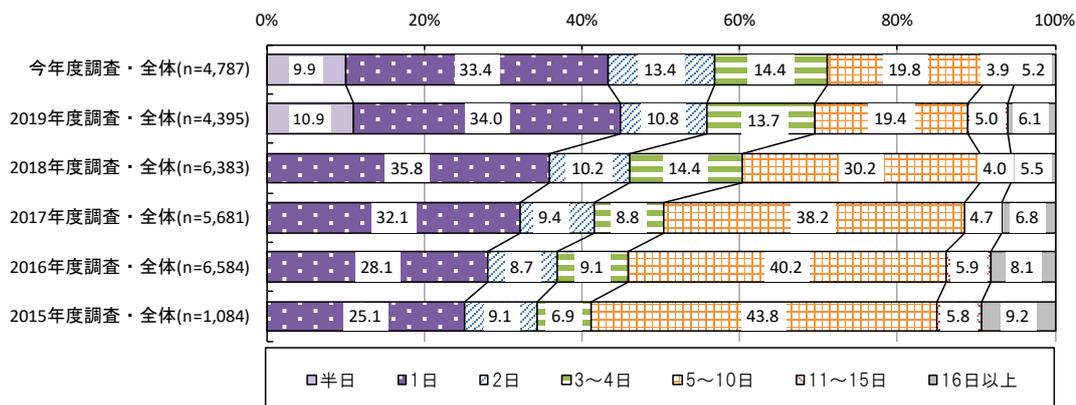
⁵³ 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況について尋ねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

③参加日数

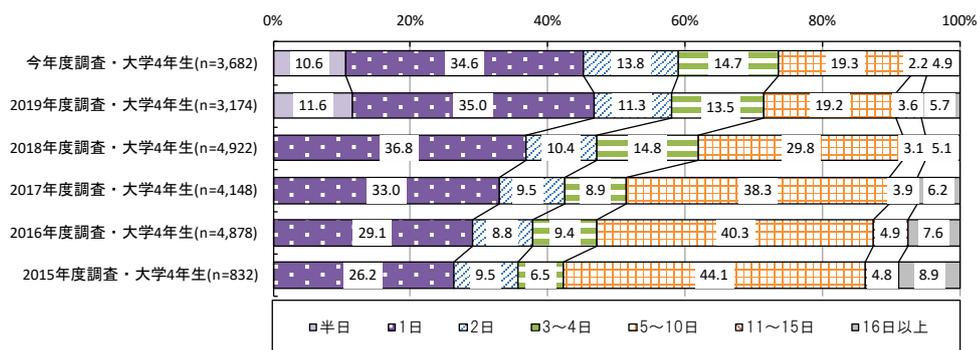
参加したインターンシップのうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日」の回答割合が約3割で最も高くなっている。なお、「半日」の回答は約1割であった⁵⁴。

過年度調査と比較すると⁵⁵、今年度調査では2019年度調査とほぼ同様の結果となっている。

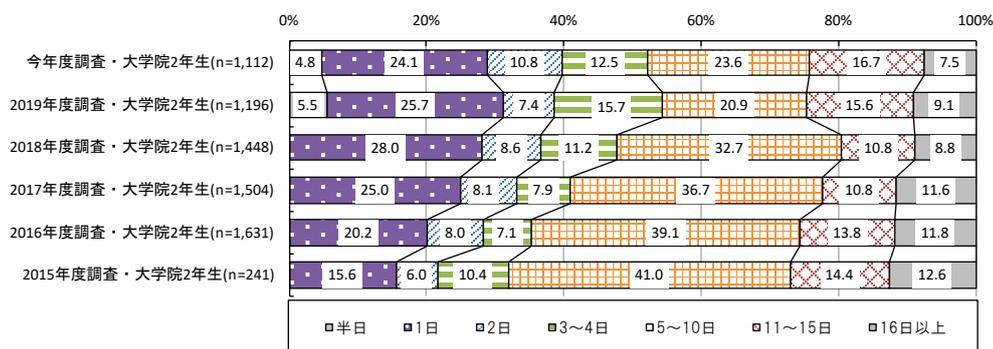
図表 3-9-3 インターンシップ参加日数
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



⁵⁴ 過年度調査では参加したインターンシップの最長の日数を1日単位の数字で回答されたものを分類して集計を行っていたが、今年度調査ではあらかじめ選択肢を設定し、参加したことがある日数の分類を選択してもらい、その上で最長の日数に関して集計をした。「半日」の分類は2019年度調査から把握・集計を行うことができるものとなっている。

⁵⁵ 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況について尋ねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

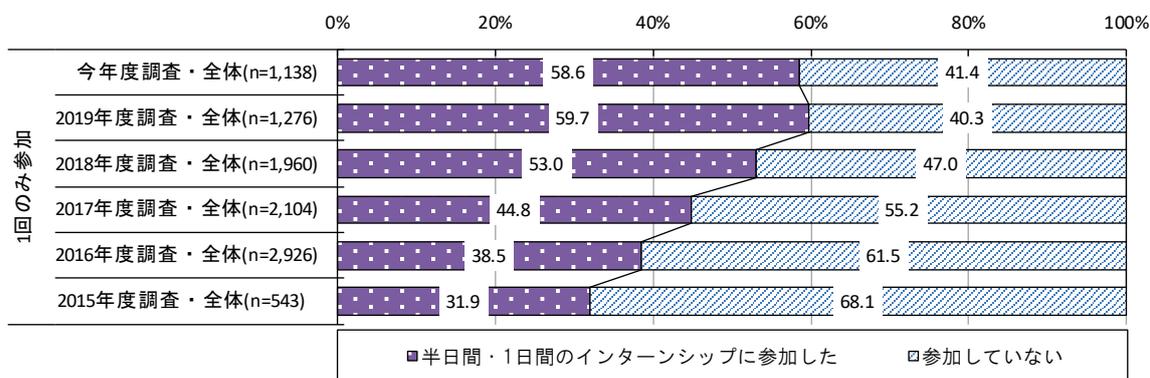
④半日間・1日間のインターンシップ参加状況

インターンシップに1回のみ参加したことがある者、複数回参加したことがある者のそれぞれについて、半日間又は1日間のインターンシップの参加状況⁵⁶を集計すると、インターンシップに1回のみ参加したことがある者で半日間又は1日間のインターンシップに参加した割合は約6割であった。また、インターンシップに複数回参加したことがある者で半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある割合は9割以上となっている。

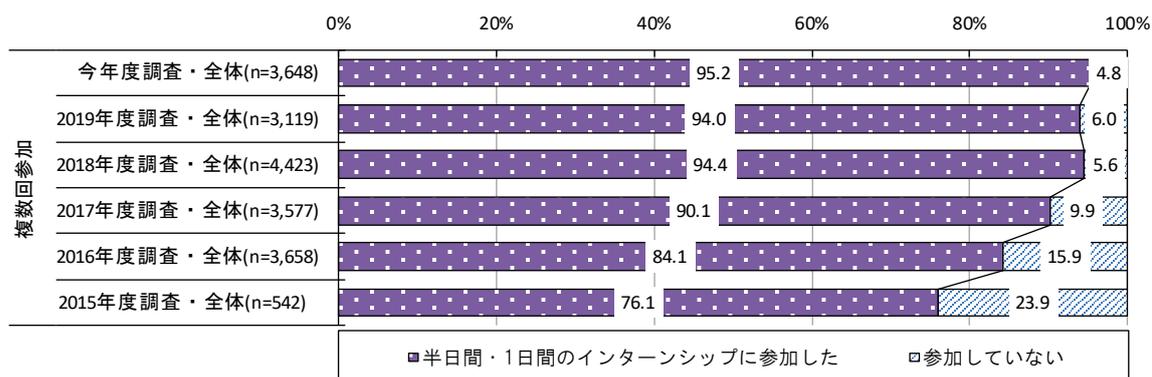
インターンシップに1回のみ参加したことがある場合で、それが半日間又は1日間であった者の割合は、2015年度調査以降高くなる傾向が続いていたが、今年度調査では2019年度調査と同程度となっている。

なお、インターンシップへのすべての参加回数のうち、半日間又は1日間のインターンシップの参加回数が占める割合を集計すると、全体の約8割が半日間又は1日間のインターンシップであった。過年度調査に比べ、この割合は若干高くなっている⁵⁷。

図表 3-9-4 インターンシップ参加経験者の半日間・1日間のインターンシップ参加の状況
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



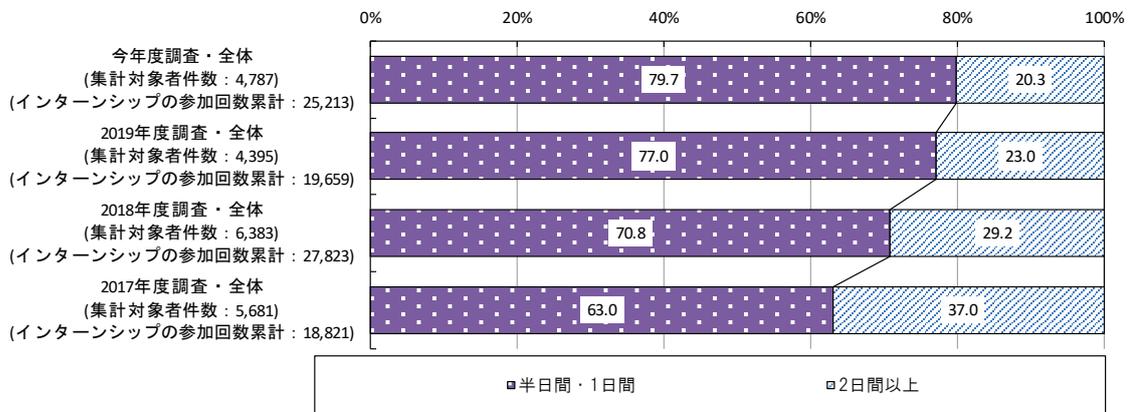
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



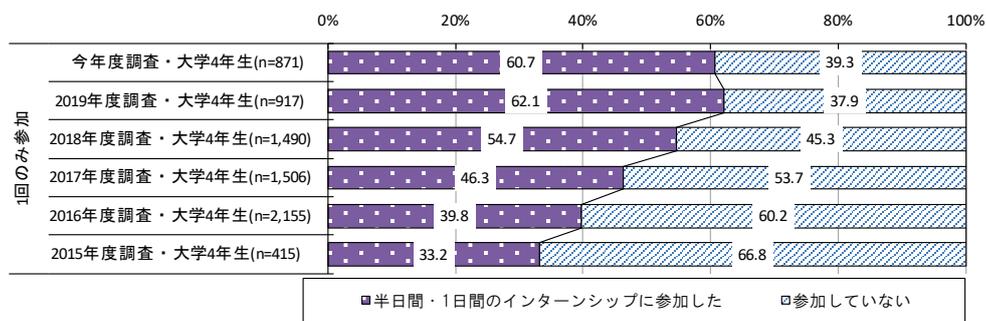
⁵⁶ 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には「半日」または「1日」のインターンシップに参加したと回答したか否かという点から、参加の有無について判断をした。なお、2018年度調査以前に関して複数回参加したことがある場合には、「最短の日数」に関する回答について集計し、1日間のインターンシップの参加の有無について判断をした。

⁵⁷ 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

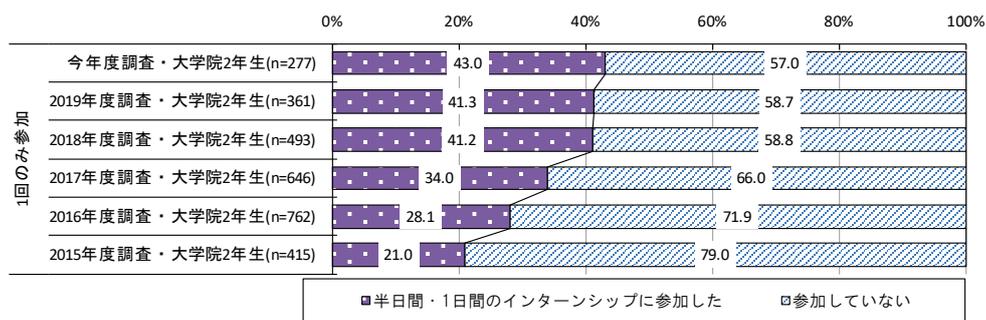
図表 3-9-5 参加したインターンシップが半日間・1日間であった割合
 (インターンシップへの参加回数累計による集計)
 (大学4年生・大学院2年生)



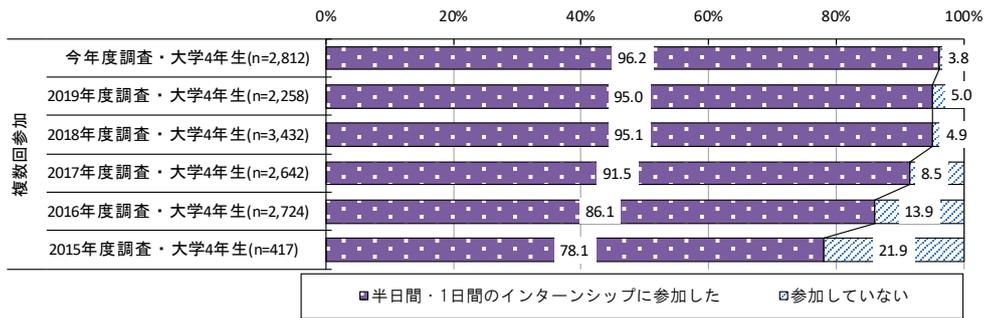
図表 3-9-6 インターンシップ参加経験者の1日間のインターンシップ参加の状況
 (大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



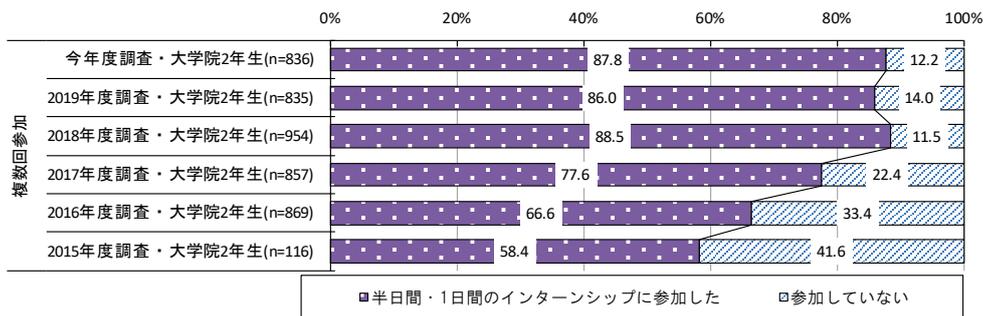
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

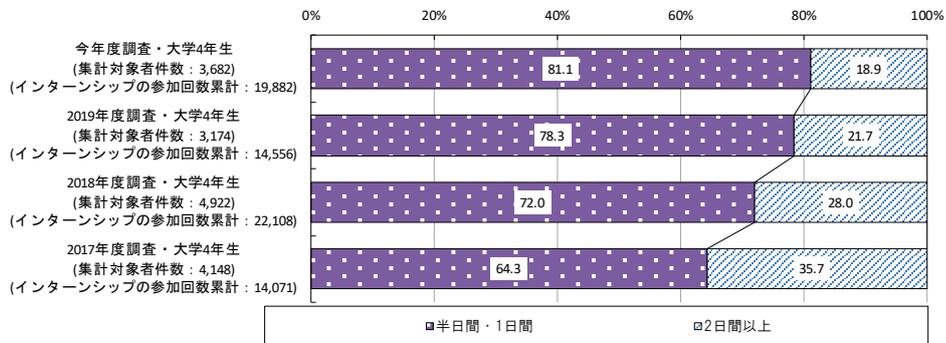


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

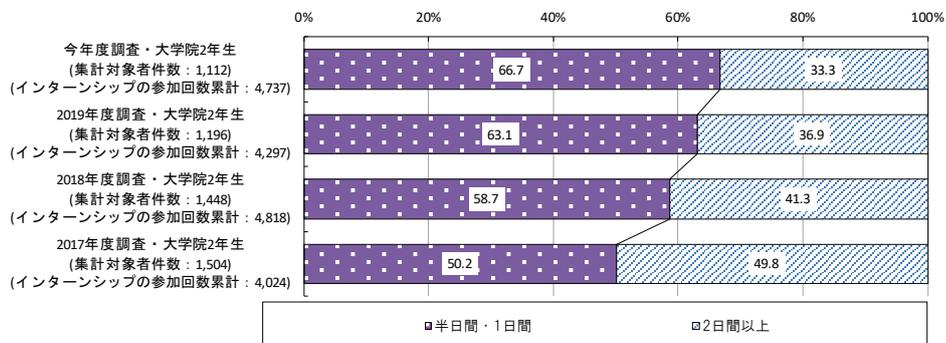


図表 3-9-7 参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



(大学院2年生)

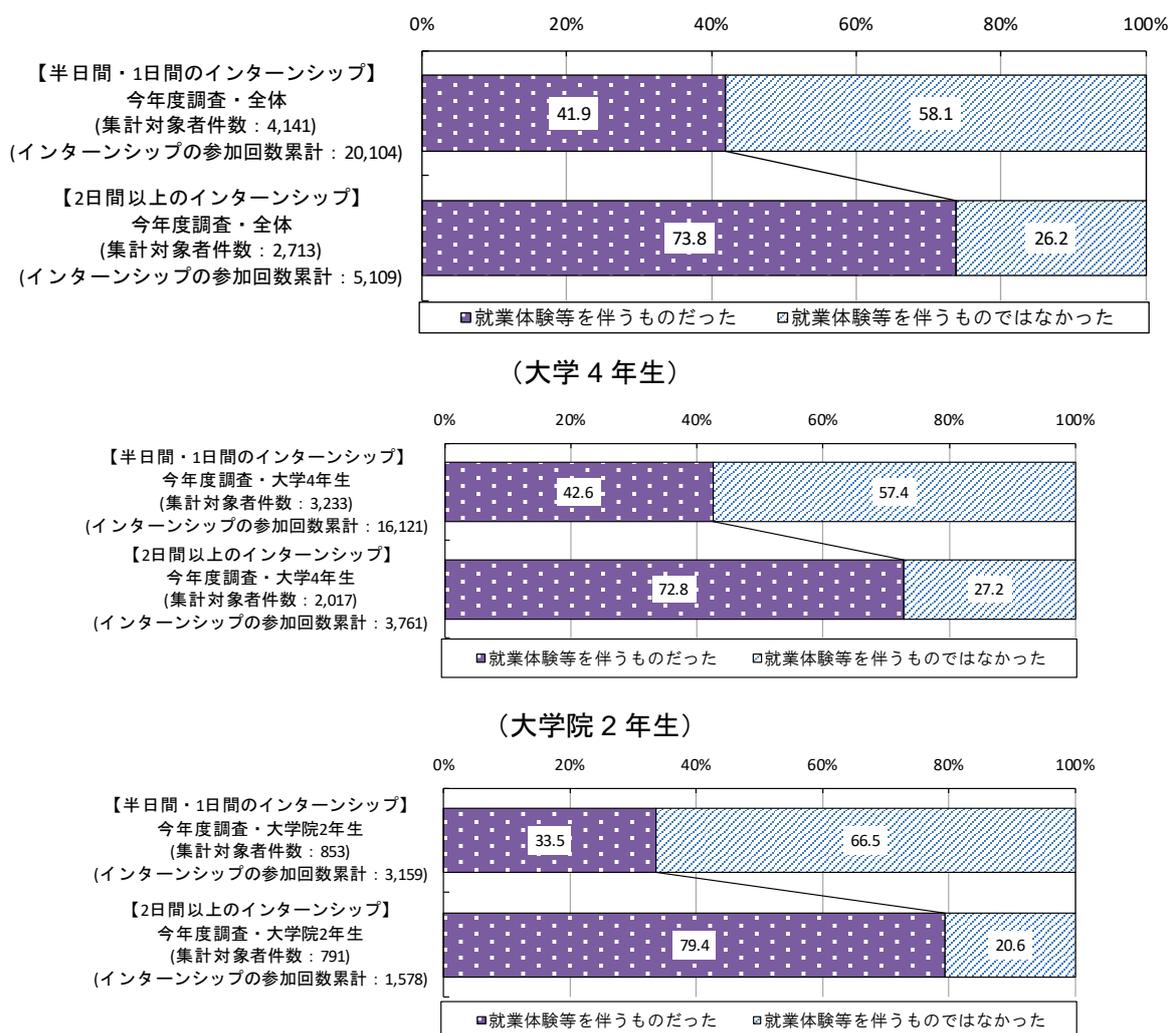


⑤参加したインターンシップの就業体験等との関係性

参加したインターンシップのなかで、就業体験等⁵⁸を伴っていたかどうかを集計すると⁵⁹、「半日間・1日間のインターンシップ」に関して、就業体験を伴うものだった割合は約4割であり、「2日間以上のインターンシップ」に関して、その割合は約7割となっている。

2019年度調査と比較すると、「半日間・1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」いずれについても、「就業体験等を伴うものだった」の回答割合はほぼ同様となっている。

図表 3-9-8 参加したインターンシップの就業体験等との関係性
(参加したインターンシップの参加回数累計による集計)
(大学4年生・大学院2年生)

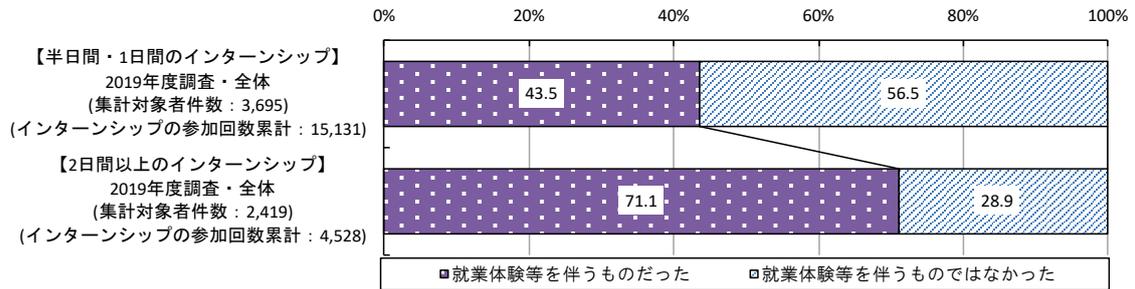


⁵⁸ 就業体験等とは、職場での業務体験や課題解決のワークショップ等を経験するもので、企業の業務内容の説明や職場見学のみものは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

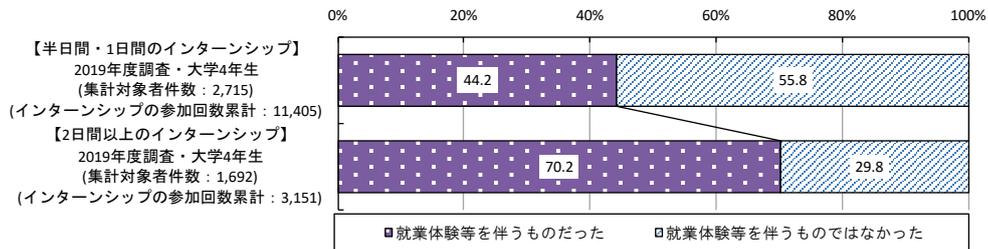
⁵⁹ 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。2017年度調査・2018年度調査については「1日間のインターンシップ」に関して、それが就業体験等を伴うものであったかを調査しているが、2019年度調査・今年度調査とは異なる方法で設問の設定を行っていることから、直接的な比較は行わなかった。

図表 3-9-9 2019 年度調査、参加したインターンシップの就業体験等との関係性
 (参加したインターンシップへの参加回数累計による集計)

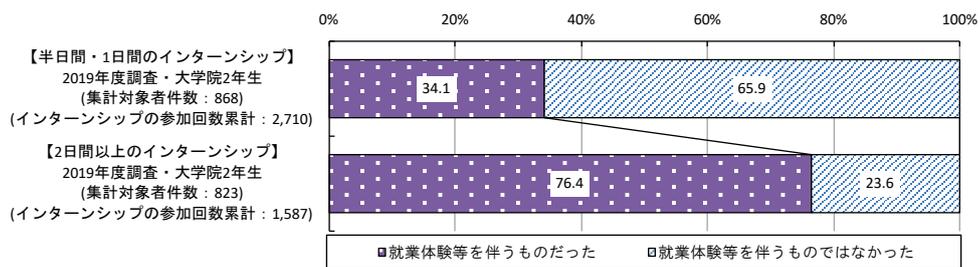
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

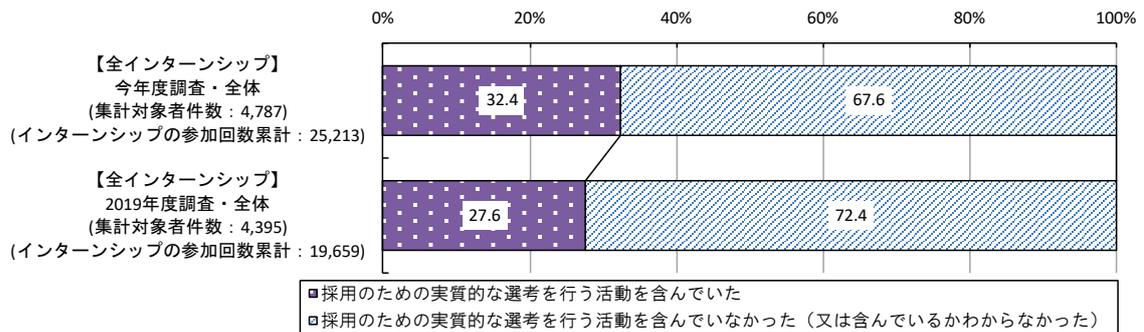


⑥インターンシップにおける実質的な選考実施の有無

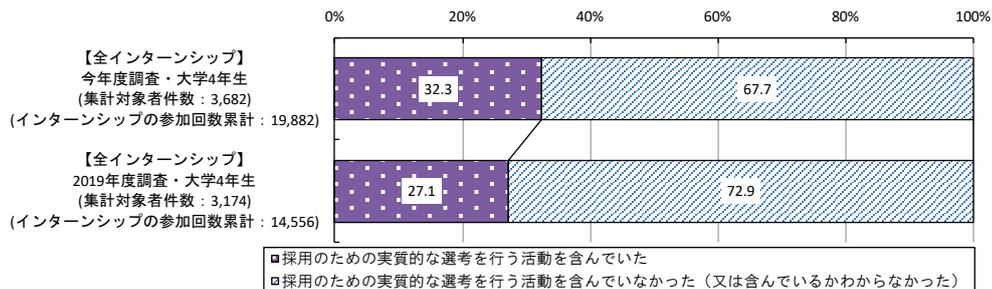
参加したインターンシップのなかで、採用のための実質的な選考を行う活動⁶⁰を含んでいたかどうかを集計すると約3割が実質的な選考を行う活動を含むものであった。

2019年度調査と比較すると、含んでいたとする回答の割合が若干高くなっている⁶¹。

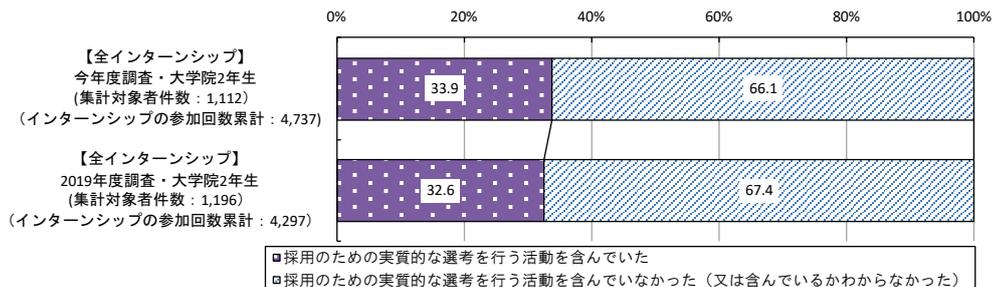
図表 3-9-10 インターンシップにおける実質的な選考実施の有無
(参加したインターンシップの回数累計による集計)
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



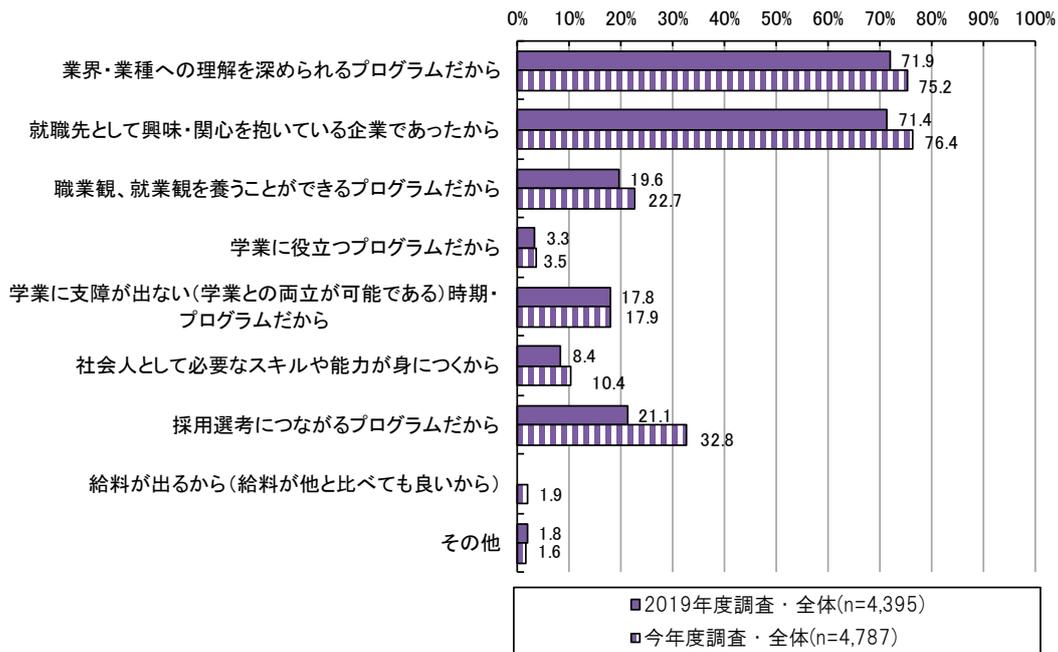
⁶⁰ 「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップの参加が採用面接を受けるための必須条件になっていた、インターンシップの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。また、終了後にインターンシップ参加者だけの説明会に呼ばれたという場合等も含んでいたようにした。

⁶¹ 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。

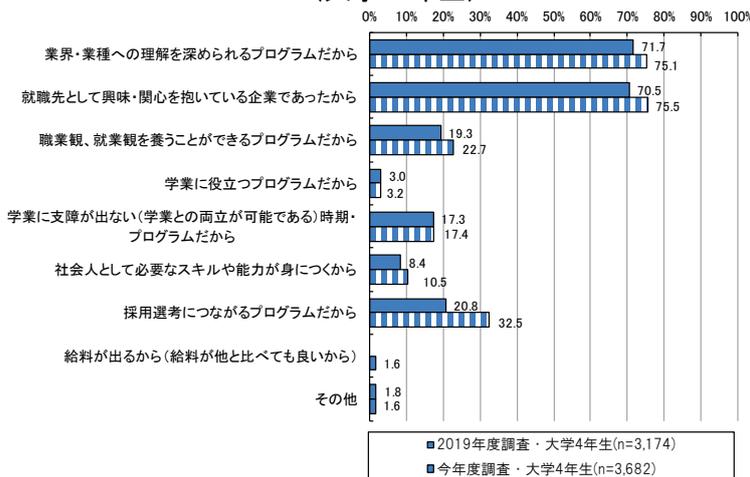
⑦インターンシップ先を選択した理由

どのような基準でインターンシップ先を選択したかについて、「業界・業種への理解を深められるプログラムだから」「就職先として興味・関心を抱いている企業であったから」の回答割合がそれぞれ約8割となっており、2019年度調査と比較して高くなっている⁶²。なお、「採用選考につながるプログラムだから」の回答割合も約3割と比較的高く、2019年度調査と比較して高くなっている。

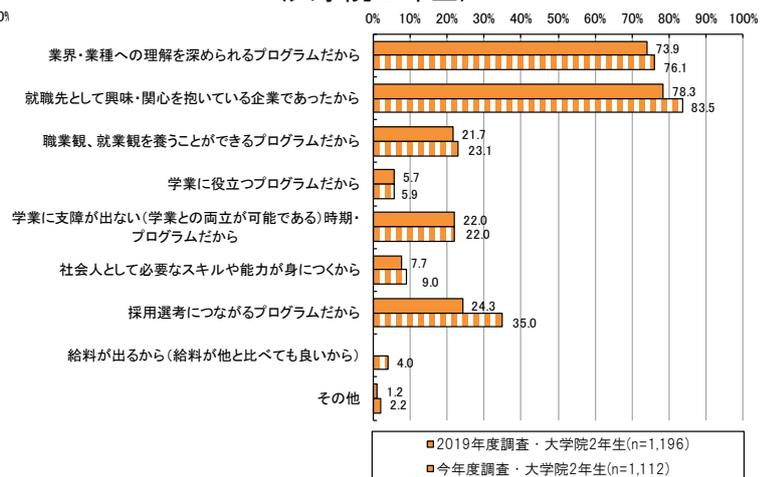
図表 3-9-11 インターンシップ先を選択した理由（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



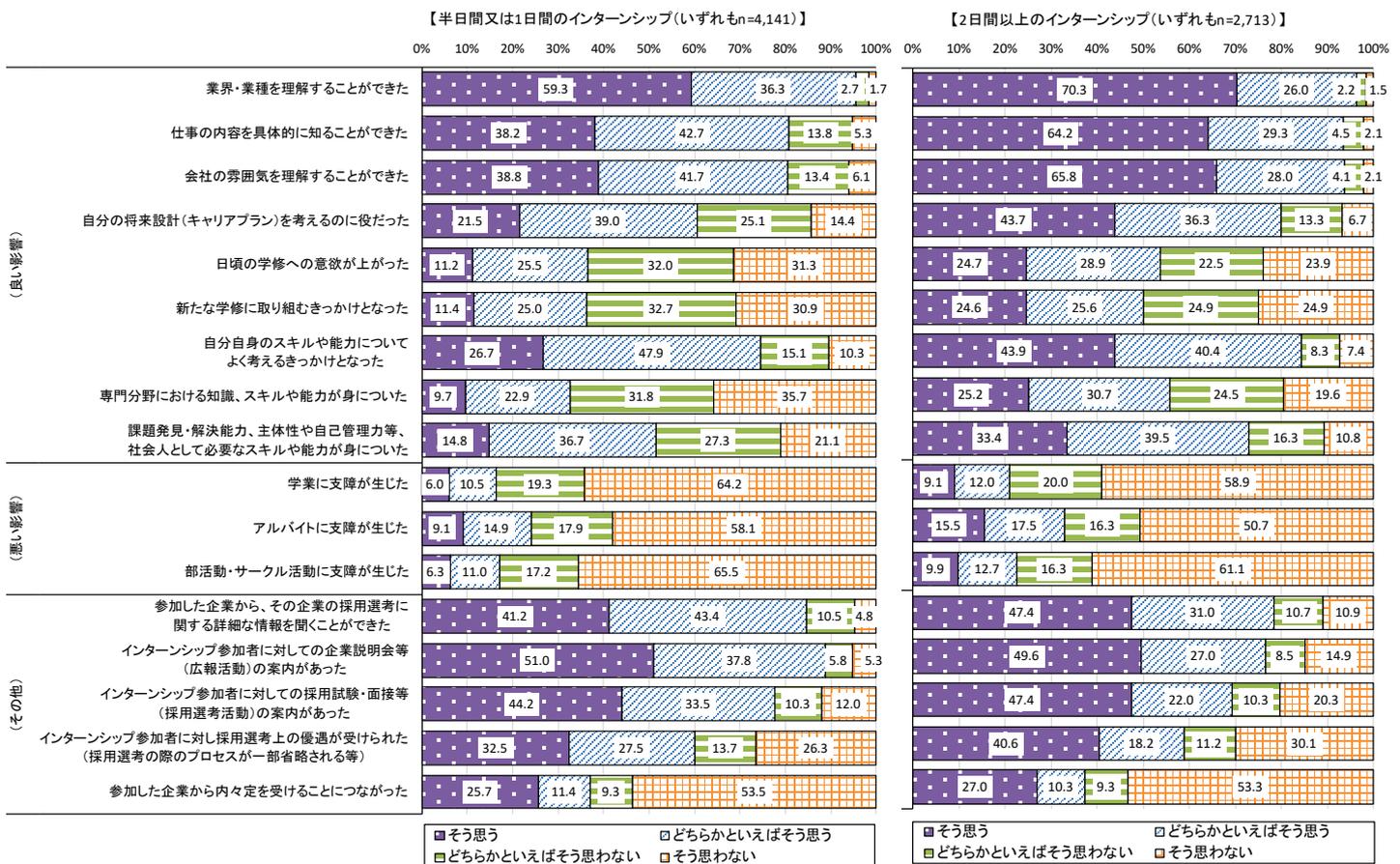
⁶² 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。また、「給料が出るから(給料が他と比べても良いから)」の調査項目は今年度調査で新たに設けた項目である。

⑧インターンシップの効果についての認識

インターンシップに参加してどのような効果があったと感じたか⁶³について、参加したインターンシップの日数別に集計すると⁶⁴、「半日又は1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」ともに、「業界・業種を理解することができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上と高くなっている。このほか、「仕事の内容を具体的に知ることができた」など、「良い影響」と考えられる点について、「半日間又は1日間のインターンシップ」に比べ「2日間以上のインターンシップ」の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている。

2019年度調査と比較すると、「半日又は1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」ともに、「参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた」などの「その他」の影響について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が高くなっている。

図表 3-9-12 インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生・大学院2年生)



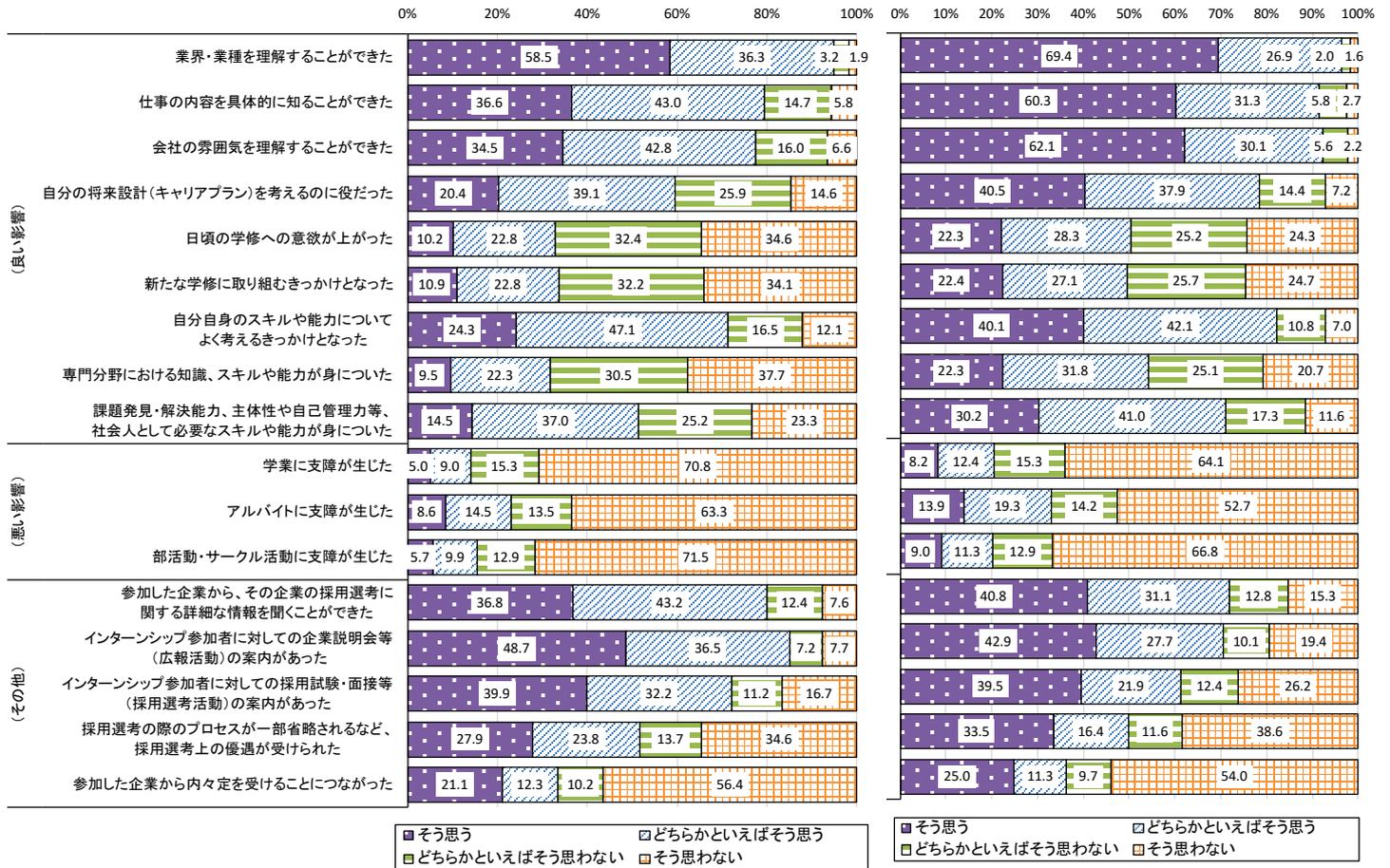
⁶³ 2015年度調査～2017年度調査では当該設問について調査を実施していない。2018年度調査では同内容の設問を設定しているが、マルチアンサー形式での項目としていることから、今年度調査との比較は行っていない。

⁶⁴ 「半日間又は1日間のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、半日間又は1日間参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも半日間又は1日間であった」、「インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。「2日間以上のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、2日間以上参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも2日間以上であった」、「インターンシップに複数回参加して2日間以上のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のものと2日間以上のもののいずれにも参加したことがある場合は、参加したことがあるインターンシップについて「半日間又は1日間であったもの」と「2日間以上であったもの」のそれぞれについて回答いただくように設問を設定した。

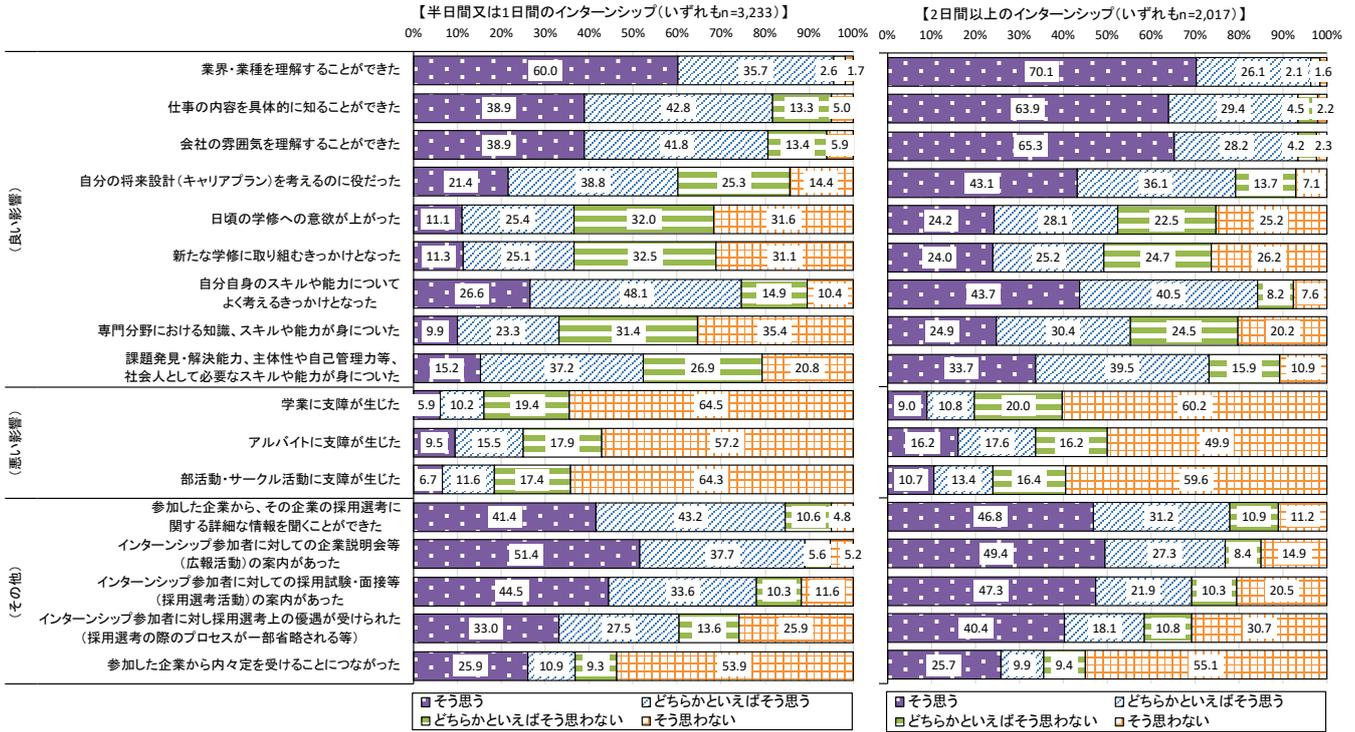
図表 3-9-13 2019 年度調査、インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生・大学院2年生)

【半日間又は1日間のインターンシップ(いずれもn=3,695)】

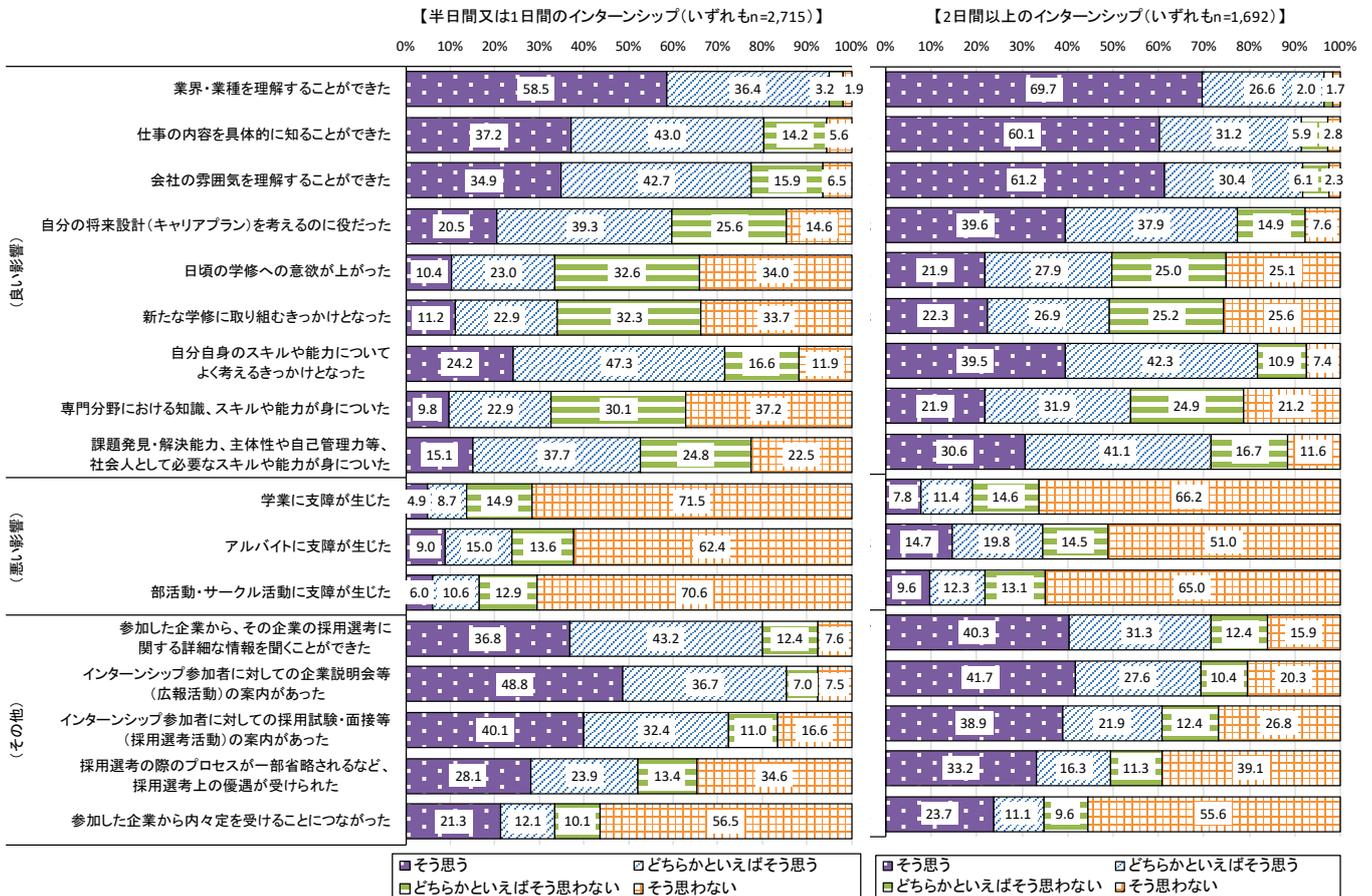
【2日間以上のインターンシップ(いずれもn=2,419)】



図表 3-9-14 インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生)

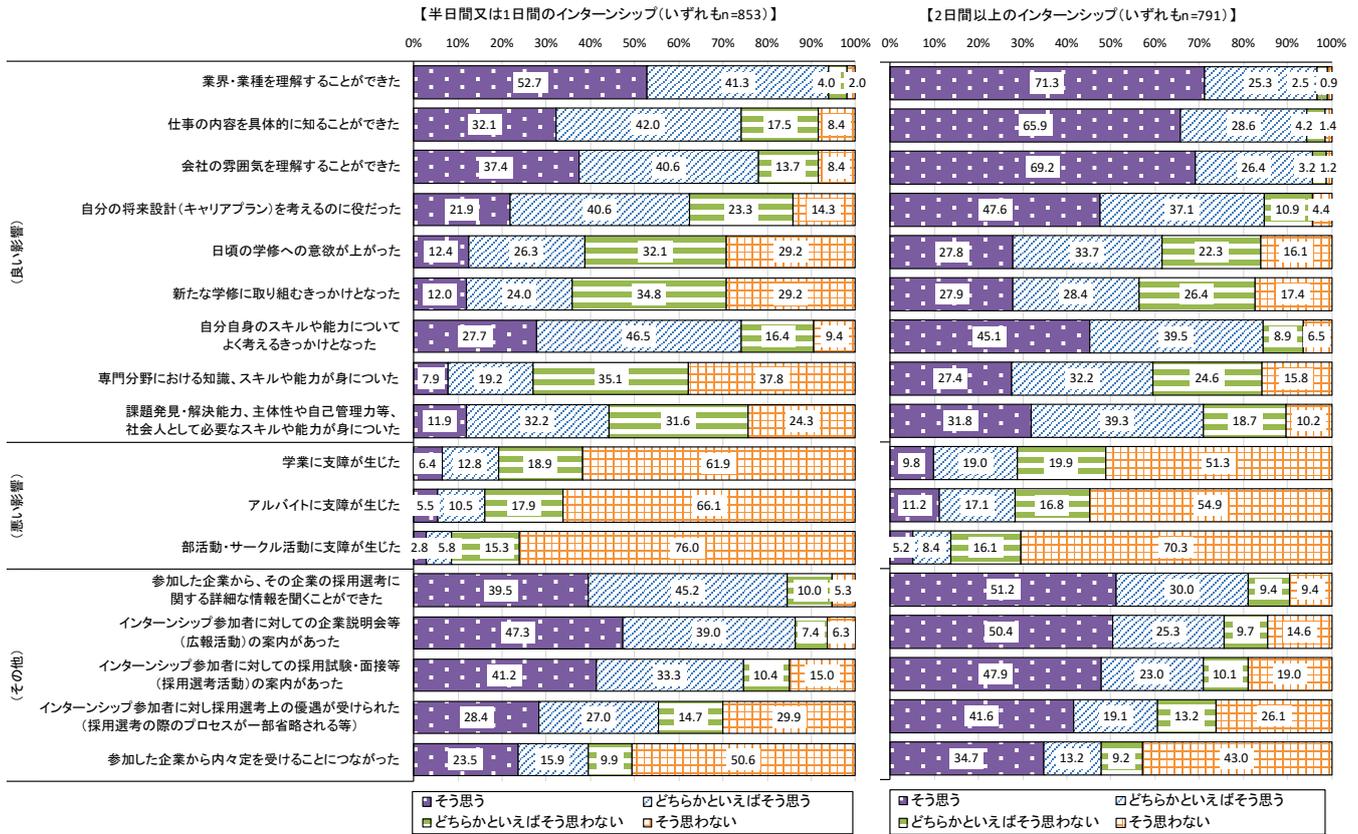


図表 3-9-15 2019年度、インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生)



図表 3-9-16 インターンシップに参加して感じた効果

(大学院2年生)



図表 3-9-17 2019年度調査、インターンシップに参加して感じた効果

(大学院2年生)

